

2025年度（2025年4月～2025年8月）第1回運営推進会議

地域密着型通所介護 上野デイハウスしもつき

2025年9月8日（月）13:30～14:00

参加者： 社会福祉法人よつば福祉 理事長 則包正人 ・ 民生委員 橘高稔治氏
家族 加藤佳津氏 ・ 少路包括支援センター 下野国明氏
ハッカクデイ管理者 後藤氏 ・ 上野デイハウスしもつき管理者 西川明美

①8月末現在在籍者数 （ ）人

○支援1（2）介護1（14）介護2（8）介護3（7）介護4（2）介護5（1）

○男性（7）女性（27）

○【支援】2名 【平均要介護度】 2.0

②2025年度4月からの活動報告

今年度の目標を決めました

“ みんなと一緒に 笑顔いっぱい お腹いっぱい 幸せいっぱい また明日 ♥ ”

しもつきに来て、皆に出会えて幸せって思って欲しい。

いっぱい笑って幸せって思ってほしい。

美味しいご飯を、皆と一緒に食べて、お腹いっぱい・幸せ！って思ってほしい。

「カラダも心もほっこりして幸せ～っ」と思える、そんな居場所にしたいという
思いを目標にしました。

- ◆ コロナ対策：引き続き検温・マスク着用・アルコール消毒・換気の徹底・食事とおやつ時の黙食
※熱中症対策の一つとして入浴介助時の浴室内介助のみスタッフのマスク着用は解除しました。
- ◆ ボランティアさんの応援をまだ再開していませんが
再開に向けて動き出したいと思います。
ボランティアさんや利用者の体調の確認もしながら無理のない様に楽しみたいと思っています。
- ◆ 月2回の絵画教室・書道教室
参加希望者のみの参加です。
- ◆ スタッフによるウクレレ演奏
- ◆ 4月より、看護師による個別機能訓練と口腔機能向上を利用者様に同意を得て実施しています。
今までも、身体運動と口腔ケアを丁寧に行っていましたが、
個別に計画を立て、少人数での機能訓練と口腔ケアを実施し、評価をしていく事が出来ます。
機能訓練は2階で看護師が少人数で行っています。
生活動作の一つとして定着していた「だんだんクラブ」階段昇降もそこに組み込んでいます。
- ◆ お誕生日写真 → マスクを取っての撮影をするために室外や2階でお一人で
写真を撮る。（コロナ前は他の利用者と一緒に記念写真）継続
- ◆ 水分補給 ・約1時間ごとの水分補給・朝は緑茶・他の水分補給は夏場は麦茶
1日6～7回はお茶を飲んで頂く時間を作っています
・浴後には薄めたスポーツ飲料で水分補給（約200CC）
- ◆ 防災・避難訓練 6/27（金）
『想定』台所から出火

お風呂場の出入り口より避難経路の確認のため、スタッフと利用者で避難経路を歩行
(歩ける方のみ)

防災頭巾とヘルメットの着用練習

- ◆ 季節のレクリエーション 夏遊び 金魚すくい・すいか割りゲーム
8/11～8/16

③コロナ感染

本人が陽性：0+5日 利用停止

家族が感染(接触者)：0+5日 簡易検査後利用

2023年5月に5類になり2年が経ちましたが変異を繰り返しています。

- ・ 7月 ご利用者の夫が感染し、同居のご本人もコロナ陽性となりました。
- ・ 7月 サ高住にお住いの方の施設内で、コロナが拡がり念のためお休み
- ・ 7月 スタッフが、家族からの感染でコロナ陽性となる

④車両事故

2025年6月30日 夕方利用者送り時

上野西3丁目の生活道路で飛び出してきた高校生の自転車と接触

自転車の運転手は左足膝を自転車にすったと言われる。

自転車の前輪が損傷する。

保護者に連絡し、警察に現場検証をしてもらう。

「自分が飛び出した」と言われ、怪我もないので自転車の修理代を負担してほしい。

との事で当事業所で弁済を致しました。

その送迎車に乗られていた利用者は別の送迎車でお送りし、経過観察をして頂きましたが
お変わりありませんでした。 大きな事故tにならずに本当に良かったです。

※ 生活道路での走行は自転車や歩行者とのすれ違いも多く、見通しの悪い
路地も多くあります。これからもより注意した走行を心掛けていきたいと思ひます。

⑤ヒヤリハット報告

○2025/5/13

受診のためお休みをすると聞いていたが、送迎表の変更が出来ておらず、お迎えに行き送迎車に乗車。
送迎スタッフに連絡をするが、携帯がマナーモードになっておりスタッフに連絡がつかなかった

対策：利用者の予定変更はすぐに日報・送迎表の訂正をする

携帯のマナーモード解除の確認をする

○2025/6/18

調理中に、不足の食材を探すためガスをつけたままコンロを離れたため
鍋の中の物が焦げ発煙。警報機が鳴る。すぐにガスを切り窓を開けて煙を外に出す。
利用者・スタッフには何事もなく済んだ

対策：調理中はコンロから離れない。離れる時には必ず火を消す事の徹底

→ 台所火災の動画視聴の研修を実施しました。

警報機の動作確認と音の確認も実施(煙対応警報機・熱感知警報機)

○2025/7/5

入浴時 脱衣した靴下を別の利用者の鞆に入れて家族より連絡あり

対策：しっかりと確認しながら返却する

○2025/7/17

朝食後薬が入っている事に気づかず帰りの時間に気づく

訪看に確認後帰る前に服薬して頂く

対策：デイでは服薬された事がない利用者だったために起こった事案です。

看護師が薬の管理をしており、今後は利用者全員のお便り袋を確認し、取りこぼしのないようにしていきます。

○2025/8/26

朝のお迎え時に前回帰って来た時に「ここを怪我していた」と家族から言われる

左腕に擦過傷あり

帰りの乗車時にはその傷はなかった。

玄関中の椅子まで、スタッフの手引きで送るがその時はどうであったのかは目視確認できていないので、どこでそうなったのかは不明

対策：送り届けるまでしっかりと利用者の状態をみておく

※その他

災害時の協力体制や地域へのスペースの提供などの話も出ました。

認知症カフェの取り組みについても話をしました。